

第2回 加古川市教育振興基本計画検討委員会 会議録

会議名称	第2回加古川市教育振興基本計画検討委員会
開催日時	平成27年8月10日(月) 午前9時30分から午前11時まで
開催場所	加古川市役所 新館10階 大会議室
出席者	<p><委員></p> <p>古田薫委員長、渡邊隆信委員、田中宏昌委員、安藤巧委員、糀谷耕平委員、大西武美委員、八尾由美委員</p> <p><職員></p> <p>諏訪教育総務部長、日浦教育指導部長、大西教育総務部次長、谷池教育指導部次長、青山教育指導部参事、吉田教育総務課長、大西学校教育課長、芝本教育総務課副課長、福浦教育総務課就学前教育担当副課長、南屋学校教育課指導主事、田口教育総務課管理調整係長、澤田教育総務課管理調整係主査</p>
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 第1回検討委員会での各委員からの御質問・御要望への回答について</p> <p>(2) 第2期「かこがわ教育ビジョン」の素案について</p> <p style="padding-left: 20px;">(i) 加古川市の教育の特色「中学校区連携ユニット12」について</p> <p style="padding-left: 20px;">(ii) 第2期「かこがわ教育ビジョン」における15の重点目標について</p> <p style="padding-left: 20px;">(iii) 全体を通して</p> <p>3 閉会</p>
配付資料	<p>1 第1回検討委員会での各委員からの御質問・御要望への回答について</p> <p>2 素案</p> <p>3 第2期「かこがわ教育ビジョン」策定に向けた重点目標及び具体的な方針の整理表</p>

1 開会

2 (1) 第1回検討委員会での各委員からの御質問・御要望への回答について

議事内容（発言者、発言内容、経過等）	
事務局	「資料1」及び「資料2」に基づき説明
委員	<p>第1回検討委員会での要望に対して、事務局より補足資料を提出していただきましたが、私が要望していたのは、成果として達成した内容、あるいは達成できなかった内容、また、引き続き進めていきたい内容、といったものでしたが、残念ながら補足資料には明確に記載されていないように思いました。</p> <p>文面から読み取ると大体のことはわかるのですが、もう少し具体的な表記であればわかりやすかったかなと思います。</p> <p>1つだけはっきりわかったことは、学校園施設の耐震工事が完了したということですね。このような表記で他の部分も表現できていれば、と思いました。</p> <p>この4、5年の間に教育ビジョンに基づいた事業の進捗状況が大きく変化していることはないと思うのですが、この補足資料の内容は少しわかりにくいと感じましたので、場合によっては今日の会議の中で、この補足資料の補足説明があればありがたいと思います。</p>
委員	<p>ありがとうございます。まず今日の素案の中にそのような内容が含まれているかということもありますが、各年度ごとに実施されている事務事業評価においても成果や評価について具体的な記述がなされており、それがホームページ上に掲載されています。また詳しい内容についてはそれらをご参照いただければと思います。</p> <p>今回は、私のほうからお願いしまして、その中でも特に大きな課題と大きな成果ということで事務局に4点ほどあげていただきました。ありがとうございました。</p> <p>他にご意見はございませんでしょうか。</p>
委員	<p>地域総がかりの教育について、「中学校区連携ユニット12」を取り上げていただいたのですが、各ユニットにおける個々の取組について、詳細な内容について教えていただければと思います。</p> <p>また、ユニット12に限らず、地域と子どもと学校の三角関係を連動させて効果をあげていくためには、地域におけるきめ細かな取組が求められていると思うのですが、子どもを通してのそのような連携がなかなか見えてこない状況もあります。そのような内容について教えていただきたいと思いますのでお願いします。</p>

事務局	ユニット12の具体的な取組については、事務局においても素案への掲載を検討しておりましたが、最終的にはあえて掲載しないこととしました。それは、教育ビジョンは大きな方向性を示すものであると認識しており、あまり具体的な内容を掲載すると今後の活動が制約される可能性があると考えたためです。ただし、資料として提供することは可能ですので、検討したいと思います。
委員	具体的な取組内容について、ホームページ等で見ることができますか？
事務局	ホームページには掲載していません。
委員	わかりました。では次回の検討委員会でお示しいただくということでしょうか。簡単な資料で結構ですのでお願いいたします。 他にはございませんでしょうか。 それでは大体意見が出たようですので、最初の議題はこれで終わりたいと思います。

2 (2) (i) 加古川市の教育の特色「中学校区連携ユニット12」について

議事内容（発言者、発言内容、経過等）	
事務局	「資料2」に基づき説明
委員	<p>学校が週休2日制になって以降、子どもたちは休日を受け皿として、少年団活動などを通じて、地域の人たちとの連携を図っていました。</p> <p>近年、ユニット12が始まってからは少年団活動が非常にしんどくなってきています。それとともに婦人会や老人会も、本市ではおそらく縮小状況にあり、非常に寂しい状態であると感じています。</p> <p>何もユニット12が始まったことが原因で少年団活動や婦人会活動などが縮小したとは考えたくないのですが、残念ながら縮小状況にあることは事実です。これらのことも踏まえ、少年団等の地域の組織とユニット12との連携をもう一度よく考える必要があるのではないかと思います。</p>
委員	<p>私の子どもも、地域の少年団に参加しているのですが、参加者は年々減っている状況です。私の地区の少年団では、今年の事業が昨年と比べて半減しています。原因は様々考えられますが、一番よく耳にするのは、共働き世帯が多くなってきているということです。パートという形だけでなく、正社員として働きに出られている母親が昔に比べて増えており、専業主婦が減っているように感じています。そのような状況の中、親としてできるだけ負担を減らすためには、少年団活動を徐々に縮小せざるを得ないのだと思います。</p> <p>ただ、少年団活動の縮小に伴い、様々な行事への参加機会が減少し、地域との連携が絶たれてしまうことについては、私も懸念しています。</p>

委員	<p>P T Aは、任意組織であって強制加入の組織ではありませんが、ほぼ全世帯がP T Aに加入していただいている状況です。しかし、「加入しません。」といった意思表示がなされれば、強制的に加入していただくことはできませんし、実際にそのような話も出てきている状況です。</p> <p>P T Aと同様に、少年団も昔から任意組織ではありますが、これまで存続してきたということは、やはりその活動自体に「大事なもの」があったのだと思います。</p> <p>そのため、先ほどの意見でもあったように、ユニット 12 を核にして少年団等との連携というものを重要視するような方向性を入れた方が良いのかなと私も思います。</p> <p>単体組織の活動だけになってしまうと、その団体の存続意味をなかなか見出せない状況になることも考えられますので、「ユニット 12 を活用して地域と連携して皆で一緒に進めています。」という観点を重要視する必要があるのかな、と私も思います。</p>
委員	<p>ありがとうございました。とてもわかりやすいご意見だったと思います。地域の諸団体との連携という観点をユニット 12 の中にもう少し取り入れていく必要があるのではないかと、というご意見であったと思います。</p> <p>その中で婦人会や老人会の話が出てきましたが、これらの組織と教育との関連性については、整理する必要があると思います。少年団はもちろん子どもが主体ですので、教育と深く関わっていますが、婦人会や老人会は、地域のご婦人や高齢者の方の団体ですので、それらと「地域総がかりの教育」をどのように考えるのか、という観点が重要であると思います。</p> <p>先ほどの団体の存続そのものの話と、教育の話は少しわけて整理して考えつつ、どういう連携が出来るのか、ということについて委員の皆様からもう少しご意見をいただきたいと思います。</p>
委員	<p>私の住んでいる地域では、以前あった「婦人会」という組織は、現在ではおそらく「女性会」と名前を変えて細々と存続をしている状況です。地域によって異なるとは思いますが、婦人会とか女性会といったものは、3代も4代も地元に住んでおられる方によって続いているという印象があります。</p> <p>現在、私の子どもは既に学校を卒業していますし、また老人会に属している家族もいません。そのため、地域との関係が希薄になり、地域の情報については地区の回覧板や広報紙以外からは入ってこない状況になっています。情報があれば地域の活動にも参加できるのですが、子どもも老人もいない壮年者だけの家庭で、さらに新興住宅地に住んでいるような、その地域に従前からの結びつきがない者にとっては、地域との関係は非常に薄いなと感じています。</p>
委員	<p>ありがとうございました。何か学校に対して出来ることがあればと考えてくださっている市民が潜在的に多いのかもしれないけれども、現時点ではとっかかりが少ない状況になっているというご意見であったと思います。</p>

委員	<p>どこの地区でも同じような悩みを抱えているかもしれませんが、子どもが学校を卒業してしまうと、回覧板は回ってくるけれども詳しい様子がわからない、何をお手伝いできるのかがわからない、といった状況になります。そのためにユニット 12 が重要な役割を果たすのではないかと考えるのですが、ユニット 12 の概念の中で、中学校区を中心とした地域の活性化と学校での教育力の向上がともに図られる仕組みが実現できれば、と思いました。</p> <p>他にはご意見ございませんでしょうか。</p>
委員	<p>先ほどの話の続きになるのですが、婦人会、子ども会、老人会といった活動が減って寂しくなり、昨今よく言われる無縁社会になっています。ですので、やはり今後は子ども会や婦人会など、そのような組織を巻き込んだユニット 12 になってほしいと思います。</p>
委員	<p>ありがとうございました。素晴らしいまとめであったと思います。他にはございませんでしょうか。</p> <p>それでは大体これで意見が出たと判断させて頂きまして、第 3 章についてはこれで終わりたいと思います。</p>

2 (2) (ii) 第 2 期「かがわ教育ビジョン」における 15 の重点目標について

議事内容（発言者、発言内容、経過等）	
事務局	<p>「資料 2」、「資料 3」に基づき説明</p>
委員	<p>現行の教育ビジョンよりも良く整理していただいているなどと思って拝見させていただきました。その上で、先ほどの「中学校区連携ユニット 12」との関わりについてですが、第 3 章において加古川の教育の特色がユニット 12 であり、目玉として取り上げてられていますが、それが第 4 章の重点目標や具体的な方針の中にどう生かされているのか、どう関連づけられているのか、という点が少し見えにくいと感じました。言葉としては、重点目標①の具体的な方針の 2 つ目に『『中学校区連携ユニット 12』を活用した学校園の活性化』が挙げられているのですが、他の部分において、このユニット 12 がどのように関わってくるのか、という点について検討いただければと思います。</p> <p>現行の計画を見ますと、15 ページ、17 ページ、25 ページ辺りの説明文の中に盛り込まれていますが、もう少し多くても良いのでは、という印象を持ちました。</p> <p>ユニット 12 は学校教育中心なので、基本的方向 4 『学び』が生かせるまちづくりには反映されていないのですが、先ほどからの意見を伺っていると、地域の団体との関わり部分で盛り込むことが出来れば、第 2 期計画としての新たな方向性を展開できるのではと思いました。</p>

委員	それからユニット12は一番重要なポイントということですので、重点目標①の具体的な方針の中でも、一番上に繰り上げて良いのかなと思いましたが検討いただければと思います。
委員	それぞれの具体的な方針の後には、個別に説明を入れていただくことになっていると思いますが、今のご意見について事務局の考えを説明願います。
事務局	今後、第3回の検討委員会に向け、具体的な方針に沿った取組内容を決定していく予定であります。先ほど委員からいただきましたご意見を踏まえて検討していきたいと考えています。
委員	もう少し詳細な記述を今後素案に追加していく中で、今回各委員から出た様々な意見を反映していただけるということでもよろしいでしょうか。 それでは大体意見が出たようですので、この議題はこれで終わりたいと思います。

2 (2) (iii) 全体を通して

議事内容（発言者、発言内容、経過等）	
委員	素案全体について、ご意見、お気づきの点、ご質問などがあれば出していただけたらと思います。
委員	<p>遡ることになるのですが、「中学校区連携ユニット12」について、よく理解できないところがあります。ここで取り上げているのは、加古川中学校区だけなのか、加古川市全体の各中学校区のことなのか、それがよく理解できていない状態でして、この場では加古川市全体のことだと思うのですが、「中学校区一斉のあいさつ運動」は、加古川中学校区だけでなく、各中学校区で一斉にやっていることだと思いますので、あえてこのようなことを言う必要があるのかな、と少し思いました。少し誤解してしまうのですが、これは加古川市全体の一斉あいさつのことだろうと思います。</p> <p>また、「中学生が地域の学校園・地域に出向いてのボランティア活動」に参加するという表現は、少し言い過ぎているのかなと思います。</p> <p>私が住んでいる地区では、小・中学生が参加しやすいような事業を、年間約20ほど実施しているのですが、残念ながら中学生が出てきている行事はありません。ほとんどが小学生、それも低学年までの子どもです。土曜日や日曜日、あるいは平日の夕方以降に事業を計画しても、それらの時間帯には小学生高学年は塾に通っているという状況が実情であると思います。</p>

委員	<p>そのような意味で、素案 28 ページの表現にある「地域との方々とのつながりが段々と深まっていきました。」とは、どこの地域のことかな、と思いました。私が住んでいる地域を含めた近隣の地域と運動会等を合同で実施しても、子どもたちの参加はほとんどありません。例えば、グラウンドゴルフ大会を合同で開催しましても参加者はお年寄りの方ばかり、というのが現実です。そのようなことから、どの地域がこの表現に該当するのかということが疑問視されるところです。そのような意味から、本当に各中学校区で独自性を出してやるべきことなのかなと思います。</p> <p>それぞれのユニットが特色を出して実施するものについては意味があると思うのですが、加古川市全体でやっていることあれば、「中学校区ごとの」と言わなくても、市全体としての取組ということで良いのではないかなと思います。</p> <p>それから、「地域総がかりの教育」を進めるに当たっては、市全体で一体となって進めていく必要があると思います。そのような意味では、学校園の教職員の方が、各地域での事業活動に子どもたちを引率して来られて、地域の方とのふれ合いの場とするような進め方も必要ではないかと思います。</p> <p>「中学校区連携ユニット 12」という名前だけが表に出てしまって、中身があまり見えてこないのも、もう少しわかりやすく活動ができるようにならないかと思っています。失礼ですが、新たに第 3 章として取り上げていますが、それほど大したことではないのかな、取り上げるほどのことではないのかな、とも思っています。</p> <p>それよりも、素案 34 ページ以降の 15 の重点目標の部分の方が、中身がよくまとめられていて今後の取組が非常に良くわかります。</p> <p>それともう一点。教職員の指導力は本当に低下しているのでしょうか。高齢の退職者が増えて、若手教職員が増えてきていますが、教職員になれる方は、教員免許を取得しておりますし、教育実習も経験されているわけですから、そんなにレベルが低いとは思えないのです。若手教職員の方に対して少し失礼なように思います。</p> <p>各学校において、ベテランの教職員が若手の教職員をバックアップしてスキルの共有を図りながら教育活動を進めていく形で良いのではないかと思います。</p> <p>重点項目⑩は先生方を非難したような表現になっているように思うのですが、優秀な若手教職員に対してに非常に失礼ではないかと感じるので、重点項目⑩の 3 つ目の具体的な方針にあるフォローアップのみで良いと思います。先生方がこの表現を見られたらどのように感じるのかな、と思いました。</p>
委員	<p>ありがとうございました。まずは 1 つ目の論点の「中学校区連携ユニット 12」についてですが、校区ごとに特色が出ていないのであればユニット 12 にはあまり意味がないのではないかと、というお話でした。</p> <p>市全体で一体となって学校園を支えるというような方向性の方が良いのではないかと、ということでしたけれども、いかがでしょうか。</p> <p>私たちが考えていけないといけないことは、教育を取り巻く環境が変化する中で、地域の関係が非常に希薄になっており、地域の団体というものの存在自体が非常に危うくなっている状況において、ユニット 12 の意義はどうあるべきか、ということですね。</p>

委員	<p>新しい住民同士の関係の中で、ユニット12をどう位置付けていくのかということをお私達は考える必要があると思うのですが、何かご意見がありましたらお願いしたいと思ひます。</p>
事務局	<p>「中学校区連携ユニット12」ですが、加古川市にある12の中中学校区において、それぞれの取組をまず中心に進めています。</p> <p>例えば加古川中学校のユニットであるならば校区安全の日を設定したり、校区一斉清掃などをしてひます。</p> <p>他にも先ほどご意見のありましたあいさつ運動についても、確かに各学校で実施してひますが、例えば平岡中学校ユニットであれば、「おはようデー」ということで校区一斉であいさつ運動を実施するなど、それぞれに特色のある運動をしてひます。</p> <p>全市的な取組に関しては、例えば最近では児童会、生徒会を中心にした「心の絆プロジェクト」ということで、いじめに対する運動を全市的に取り組んでひます。</p> <p>各中学校区においては、地域の方との関わりに差があり、取組状況がそれぞれに異なっていることも認識してひます。</p> <p>個々の校区で運動を広げれば良いということではなく、2月に開催してひる加古川教育フォーラムの場では、頑張っているユニットの取組を紹介したり、情報交換を行ったりしてひます。また、ユニット12の幹事会では、各中学校のユニットを担当してひる先生方同士が情報交換を行い、他のユニットの取組の良いところを取り入れながら進めています。</p>
委員	<p>ありがとうございます。私はアメリカを対象とした教育行政学を研究してひるのですが、アメリカの教育は非常に荒廃してひます。そして、その主な要因は地域のつながりが非常に薄ひことです。日本の教育に関する書籍を読んでひますと、秋田県、福井県は非常に学力が高く、それは地域が非常にしっかりしてひるからであるとされてひます。</p> <p>「つながり格差」などと言われておひますが、地域のつながりが濃ひところでは学力も高く、子どもたちも非常に健やかに育ってひることを考慮すると、地域と学校の関係というのは非常に大事であるということを感じてひるところです。</p> <p>ただし、地域によって新興住宅が多い地域と、従前からの住民の多い地域では温度差もあるでしょうし、女性の社会進出といった状況がある中で、地域での事業の継続が非常に難ひということはもちろんあると思ひます。</p> <p>そのような中で、まずはこのユニットという装置を活用して中で何が出来るかということについて、様々な知恵を出し合って実践してひく必要があるのかなと感じてひるところです。</p> <p>先ほど事務局からご説明いただきましたが、各校区でいろいろな努力をしながら活動をしておひ、その取組の交流の場としてフォーラムや幹事会があるということでした。そのようなものを活用しながら、子育てを終えた世代も含め、私たち大人が子どもたちをバックアップしてひくために「中学校区連携ユニット12」をどのように活用できるのか、ということをお考える必要があると考えてひます。</p>

委員	<p>ユニット12ですが、そもそもは素案の26ページにあるように平成19年度からスタートしたものであり、小1プロブレムや中1ギャップといった問題がある中で、タテの連携を深め、教職員の交流や研修によって情報共有を図り、子どもがスムーズに進学できるようにという仕組みであったと思います。</p> <p>現在のユニット12は、タテの連携だけではなくヨコの連携を強め、地域と家庭と学校園を結び付けて一体となって教育を進めるというような仕組みだと認識しています。</p> <p>タテの連携は出来てきていますが、先ほどの意見にもあったように、ユニットとして地域との関わりが出来ているのかどうかという点については、私も疑問がありますので、今後ユニットを核にして地域との連携、ヨコの連携を深めていくような取組を重点的に実施するイメージをこの計画に盛り込むことができればと思います。</p>
委員	<p>ありがとうございました。今後の方向性としてヨコの連携を強めていく、という要素を素案に盛り込んではいかがでしょうか、というご意見であったと思います。</p>
事務局	<p>ユニット12ですが、元々は先ほどのご意見にありましたように校種間連携ということでスタートした事業です。この9年間、そのような事業を各地域、あるいは各中学校区のユニットの考え方を尊重しながらボトムアップの形で進めてきました。</p> <p>それぞれのユニットには一人ずつ幹事長がいて、7月には9年間を総括するに当たっての会議を開催しました。</p> <p>その際に各幹事長からは「地域との連携」が課題であるという意見をいただいています。つまり、先ほどからの委員の皆様のご意見と現場の教職員が把握している課題が一致しているわけです。そこで学校現場の立場からも、教育行政の立場からも、今後ユニットは地域との連携をさらに深めていく必要があるということで29ページに結んでありますように、課題としては認識をしているところであります。</p>
委員	<p>ありがとうございました。では論点の2つ目となっている「教職員のスキルアップについて」に移りたいと思います。本当に若手教職員の資質というのは低いのか、というご意見がありましたが、この点に関してはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>昔から「教育は人なり。」と言われておりまして、教育の質を左右するのは教師の質であるとされています。これは今も昔も変わらないと思います。学校の設備が充実しても、教科書がどれだけ改善されても、教師の資質・能力が向上しない限りは良い教育につながらないと思います。</p> <p>近年、学校現場の課題が学習指導の面でも生活指導の面でも高度化・複雑化しています。そのような中、採用時に持っている能力だけではなく、変化に応じてその都度指導力を向上させる必要があるという趣旨で、この「経験年数や役職に応じた資質能力向上研修等の推進」が記載されているのだと思って見させてもらいました。</p> <p>文部科学省においても、教員教育、教員養成に非常に力を入れていまして、「学び続ける教員」というのが一つのキーワードになっているかと思っています。</p>

委員	<p>ですので、採用時に限らず、若手・中堅・ベテランといったそれぞれの時期に応じた質の向上につながる研修を、様々な形で工夫して実践されたら良いのかなと思います。この素案の表現は決して若手教職員の力が落ちているということではなく、採用された時の力だけでは教職員としての質を高い水準で保っていくことが難しいという意味であると理解しています。</p>
委員	<p>ありがとうございました。企業と同様に教職員においても若手教育には指導教員と呼ばれるベテランの先生が指導についてくださるということもあります。</p> <p>ただこの素案にも掲載されていますが、40代の教職員が少なくなっているということもあり、若手教職員がベテラン教職員の背中を見て育つということが難しくなっているということを聞きますので、素案に記載されている研修というのは非常に重要になってくるのかなと考えています。</p>
委員	<p>新任職員は筒いっばいの走り方をしていますので、体を壊したり、あるいは教育に対する影響が出てきたりすることが無いよう、フォローアップすることが非常に大事であると思います。</p> <p>先ほどのユニット12についてですが、加古川市内で各中学校ごとの地域といっても、農村部や都市部では環境も異なっていますので、そのような違いを踏まえて、各中学校区において具体的にユニット12に対してどう取り組んでいくかということは非常に大事だと思います。地域との関わりと言いましても、町内会、婦人会、少年団といったいろいろな組織に加え、地域の中にある事業所や商店、その他様々な観点があると思います。それらも一緒に巻き込んだ中での取組が必要でないかと考えます。</p> <p>地域の中でも、例えば老人会に関しては、「私は65歳だからまだ年寄じゃない、老人会には入らない。」というような利己的な行動も見られます。いわゆる団塊世代の方は、高度成長時代に会社人間であった傾向があるので、いざ地域に帰ってくると孤立する状況になり、なかなか地域と関わることができず、地域のことは奥様に任せているのが現状だと思います。</p> <p>そのようなことも踏まえ、地域ぐるみという観点は非常に重要なことだと思います。もちろん町内会、婦人会、少年団など様々な活動がありますが、もう一度地域で立て直していかなければならないと考えています。</p>
委員	<p>ありがとうございました。ユニットに関するご意見もいただきましたけど、2つ目の論点については、若手教職員にはフォローアップも必要であり、若い先生方に育てていただくというのは非常に必要であるということで皆様からご意見をいただいたと理解しています。</p>

委員	<p>先生方は非常に忙しい中、様々な部分でユニット 12 に関わっていただいています。</p> <p>私の地域では、先生方、子どもたち、地域の役員、老人会を含め、皆で地域の一斉清掃するわけですが、このようにユニット 12 が町内会、子ども会と上手く連携をとれるようにしていくことが大事だと思います。</p> <p>続いて、重点目標⑤について少し意見を述べさせていただきたい。具体的な方針として「道德教育の推進」と「人権教育の推進」が掲げられています。</p> <p>道德教育が来年度から教科になることに伴い、文部科学省から学習指導要領の説明書が出版社に出されており、出版社が読み込んでいる最中だと思います。先日、大学教授をお迎えしてお話を聞いた時のことですが、学生たちは人権、特に同和問題に対して「暗い」、「特別なところに住んでいる」、「結婚ができない」、「閉鎖的である」というようなイメージを持ってしまっているということでした。</p> <p>そのような状況を踏まえましても、学校教育においてよほど前向きな人権教育をしていただかかないと、そういうとんでもないイメージをもっている学生たちが増えてしまいます。この計画における人権教育については、同和問題を基軸とした内容であってほしいと思っています。</p>
委員	<p>ありがとうございました。重点目標⑤の「人権教育の推進」に力を入れてほしいというご意見であったと思います。他にはございませんでしょうか。</p>
委員	<p>2点気づいた点があります。まず1点目は素案 10 ページの「加古川市の教育課題」の一覧についてですが、この表では分野が「学校教育」と「社会教育」に整理されています。社会教育の中に生涯教育、家庭教育、地域の教育、青少年の健全育成の4つが分類されているのですが、この4つを束ねる言葉として、果たして「社会教育」という言葉がふさわしいのかなと思いました。例えば、「学校教育」と「学校以外での教育」というような整理の方が良いのかなと思いました。</p> <p>また、「生涯教育」というこの言葉ですが、現行では「生涯学習」になっていると思います。この辺りの言葉も検討いただければと思います。</p> <p>2点目ですが、12 ページ以降の総括の表現についてです。それぞれわかりやすく記載していただいているのですが、「課題」と「今後の方向性」のつながりが見えにくい表記がありますので、また全体の確認を頂きたいと思います。</p> <p>例えば 15 ページの「望ましい就学前教育施設のあり方検討」では、課題には施設の老朽化が挙げられていますが、今後の方向性の内容とどのように関わりがあるのかというところです。</p> <p>また、今後の方向性が抽象的で、あまりにも漠然としている箇所があります。18 ページの食育の部分や、20 ページの学校園の評価の部分については、もう少し具体的な表現の方が良いのかなと思いました。全体を通して課題と今後の方向性の関係を確認いただければと思います。</p>

委員	<p>14 ページの「幼児教育を受ける機会提供の推進」の課題に「市立幼稚園については4歳児の申込者数が定員を超過している園がある」とあります。実際に4歳児を受け入れている幼稚園がありますが、ほとんどの幼稚園では1クラスとなっています。</p> <p>5歳児になりますとそのまま1クラスの園や、2クラスに増えている園もありますが、今後の方向性として、4歳児の受け入れも2クラスに増加する予定はあるのかについて教えていただきたいと思います。</p> <p>4歳の子を私立の保育園に行かせて、5歳児だけを市立の幼稚園に行かせるというのは、保護者の負担が大きいため、そのまま私立の幼稚園に行かせるというケースも聞いています。</p> <p>加古川市の幼稚園は園児数が多かった時代もありますので、施設が充実している園もたくさんあるので、もったいないと感ずることがあります。</p>
事務局	<p>加古川市立の幼稚園の4歳児クラスの増設、これにつきましては「子ども子育て支援事業計画」という計画を策定しておりまして、その中で加古川市域をA区域、B区域、C区域の3区域にわけています。A区域は加古川市の南東部、B区域は神野・八幡地域、C区域は加古川の西側の地区です。この3区域において、今後児童数が増えるので増設をしていく地域と、現状維持の地域、今後見直しを図る地域といった形で整理しておりまして、4歳児クラスの定員が超過している地域については、今年度2園増設しました。今後につきましても園児の募集状況を見ながら、園の増設を検討しております。</p>
委員	<p>ありがとうございました。他はいかがでしょうか。</p>
委員	<p>重点目標⑩において「教員免許更新制の円滑な実施」が具体的な方針に挙がっていますが、法律に従い100パーセント達成すべき内容なので、具体的な方針としては掲げる必要があるのか、疑問に思いました。</p>
事務局	<p>全国では様々なケースがあり、講習を受講し忘れた結果、免許が失効してしまうという例も見受けられます。その場合、その教師はもちろんのこと、子どもたちへの影響も大きいため、あえて具体的な方針として挙げさせていただいています。</p>
委員	<p>ありがとうございました。やはり重要なことなので掲げておきたい、ということではよろしいですか。</p> <p>20ページの成果の部分には、「教員免許状管理簿の定期的な点検等により」とありますが、教育委員会での把握に加え、学校長の方でも把握していて、対象の先生に伝えるということはあるのでしょうか。</p>

事務局	<p>各学校において、免許状管理簿を管理しておりまして、校長あるいは教頭が更新講習の最終年限を把握しております。そして該当教諭に更新漏れが無いよう、年に数回声掛けをしております。加えて教育委員会の方からも更新講習についての資料が年に数度送付されてきますので、そのタイミングで声掛けを行っております。</p> <p>先ほど申し上げたように、育児休業中の教員や、新たに免許を取得された教員が、更新講習をうっかり忘れるケースが全国で見受けられましたので、そのような方には特に声掛けをするとともに、県の教育委員会の免許を扱っている課へ直接問い合わせをしながらうっかり忘れの防止に努めています。</p>
委員	<p>ありがとうございました。やはりこれは大事なことですので、今後もそういった声掛けや点検というのを実施するという意味で継続して掲げるということで良かったでしょうか。</p>
事務局	<p>具体的な方針として「教員免許更新制の円滑な実施」を掲げるかどうかにつきましては再度検討させていただきます。</p>
委員	<p>ありがとうございました。他に何かございませんでしょうか。</p> <p>それでは大体意見が出たようですので、本日の議事についてはこれにて終わらせていただきたいと思います。</p>

2 閉会